



# 特別支援教育ほっと通信

平成31年3月  
西部教育局

毎年4月下旬に提出していただいている特別支援学級の教育課程表ですが、4月から確実にスタートするためには、早い段階から次年度の教育課程の検討を始めることが必要です。

今回は、よく見られる誤りをもとに点検の手順(ポイント)をいくつか紹介します。

どこに疑問が生じるでしょうか？

## 2 授業時数等について

### 【例1】知的障がい特別支援学級

(1) 年間授業時数  
《小学校》

各教科等 指導の形態	各教科										特別 の教科 道徳	外 国語 活動	総 合的 な学 習の 時間	特 別 活 動	自 立 活 動	各教科等を 合わせた指導 の時間	授 業 時 間 数	交 渉 学 習 の 時 間 数		
	生活 (小学部)	国 語	社 会	算 数	理 科	生 活 (小学校)	音 楽	図 画 工 作	家 庭 育 成	体 育										
氏名(学年)																				
米子 一郎 (3)	190	140	140	140	140	140	140	140	140	140	105	35	15	55	35	35	35	960		
	2	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3			

知的障がいがあるが、当該学年及び下学年の目標及び内容を学ぶ児童

生活単元学習  
(各教科等を合わせた指導)

「生活単元学習」は、知的障がい特別支援学校の各教科等を履修している場合のみ可能な形態

【例1】の児童は、当該学年の教科及び下学年の教科を履修

(2) 指導の形態

各教科等を合わせて指導を行う場合	合わせている各教科等(各教科、道徳科、外国語活動、特別活動、自立活動)
日常生活の指導	国語、音楽、体育、学級活動、自立活動
遊びの指導	国語、音楽、体育、学級活動、自立活動
生活単元学習	国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、体育、道徳科、学級活動、自立活動
作業学習	国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、体育、道徳科、学級活動、自立活動

「各教科等を合わせた指導」を行うことは不可能

## 2 授業時数等について

### 【例2】知的障がい特別支援学級

(1) 年間授業時数  
《小学校》

各教科等 指導の形態	各教科										特別 の教科 道徳	外 国語 活動	総 合的 な学 習の 時間	特 別 活 動	自 立 活 動	各教科等を 合わせた指導 の時間	授 業 時 間 数	交 渉 学 習 の 時 間 数	
	生活 (小学部)	国 語	社 会	算 数	理 科	生 活 (小学校)	音 楽	図 画 工 作	家 庭 育 成	体 育									
氏名(学年)																			
境港 二郎 (1)	136	102	102	102	102	102	102	102	102	102	34	34	34	34	170	136	850	238	
	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知	知			

知的障がい特別支援学校の教科の目標及び内容を学ぶ児童

知的特別支援学校の各教科

知的特別支援学校の各教科は、「生活」「国語」「算数」「音楽」「図画工作」「体育」の6教科

【例2】の児童の場合、時間割に「生活」が上がっていないことになる。

(2) 指導の形態

各教科等を合わせて指導を行う場合	合わせている各教科等(各教科、道徳科、外国語活動、特別活動、自立活動)の名称
日常生活の指導	国語、算数、音楽、道徳科、学級活動、自立活動
遊びの指導	国語、算数、音楽、道徳科、学級活動、自立活動
生活単元学習	国語、算数、図画工作、道徳科、学級活動、自立活動
作業学習	国語、算数、図画工作、道徳科、学級活動、自立活動

「各教科等を合わせた指導」の中に、「生活」を合わせることは可能

「自立活動」は必ず実施する。時間割には上がっていないが、「合わせている各教科等」の中に記載されている。

その場合、指導の形態の「合わせている各教科等」の中に記載することが必要

## 2 授業時数等について

### 【例3】自閉症・情緒障がい特別支援学級

(1) 年間授業時数  
《中学校》

各教科等 指導の形態	教科別の指導										道 徳	総 合的 な学 習の 時間	特 別 活 動	自 立 活 動	各教科等を 合わせた指導 の時間	授 業 時 間 数	交 渉 学 習 の 時 間 数	
	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭 科	職 業 ・ 家 庭 科	外 国 語								
氏名(学年)																		
湯梨浜太郎 (1)	105	105	140	105	145	145	145	145	145	140	35	50	35	35	1015			
	小6	小6	小6	小6	小6	小6	小6	小6	小6	小6	小6							

知的障がいはないが、学習内容が十分に定着していない等の実態があるため、国語と数学は下学年(小6)の目標及び内容を学ぶ生徒

交流及び共同学習の実施

◇印は、特別支援学級担任以外の教員が生徒と共に交流学級に行き、T2として指導・支援を行う時間

【例3】の生徒の「国語」は、小6の目標及び内容を学習

(2) 指導の形態

各教科等を合わせて指導を行う場合	合わせている各教科等(各教科、道徳、特別活動、自立活動)の名称
日常生活の指導	国語、算数、音楽、道徳科、学級活動、自立活動
遊びの指導	国語、算数、音楽、道徳科、学級活動、自立活動
生活単元学習	国語、算数、図画工作、道徳科、学級活動、自立活動
作業学習	国語、算数、図画工作、道徳科、学級活動、自立活動

【例3】の生徒の「国語」の場合、「交流及び共同学習」は不可能⇒特別支援学級での学習が望ましい。